

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市物流倉庫計画新築工事	階数	地上4F
建設地	厚木市上依知字堂坂沖1207番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	42人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年2月13日
敷地面積	2,703㎡	作成者	大末建設(株)一級建築士事務所
建築面積	1,420㎡	確認日	2020年2月13日
延床面積	5,600㎡	確認者	大末建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO2/年・m2)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本物件は、リサイクル材を採用し資源の保護に配慮している。また、LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮している。	0	
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、建物の耐用性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物の配置や外装計画について、まちなみに調和するよう配慮する。
LR1 エネルギー 0	LR2 資源・マテリアル ・フロンやハロンを極力用いないように計画し、有害物質を含まない材料の採用に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・屋外照明や広告物照明に対してガイドラインを満足し、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される